

科目名	デジタル演習 6						年度	2026	
英語科目名	Digital Exercise 6						学期	前期	
学科・学年	CG映像科 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	鈴木(靖)、鈴木(洋)、小池、柴		教員の実務経験		有	実務経験の職種		映像編集、カメラマン、映像制作ディレクター、作編曲エンジニア	
【科目の目的】 この科目の目的は、ショートムービー制作を通して映像作品制作の基本的知識の習得と映像制作を経験してもらう事にある。座学で企画の立案方法、シナリオの書き方、絵コンテの作り方、カメラワークなど映像の基本知識を学んでもらい、実習で撮影、編集、スケジュールリング、事前準備、グループメンバーとの連携などを体験してもらう。ここで得た知識と経験を卒業制作などに活用できるようにする。									
【科目の概要】 多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作におけるより高度なデジタル技法を修得します。(デジタル演習6はデジタル演習5の続きの授業となります。)									
【到達目標】 実習内で1～3分程度のショートムービーをグループで制作、完成させる。映像作品の制作を通じて、スケジュールリングやグループメンバーとの連携、プリプロダクション、ポストプロダクション、複数のソフトの連携方法を習得し、ここで得た知識と経験を卒業制作などに活用できるようにする。									
【授業の注意点】 スケジュールリングは重要である。特に撮影はロケ地やスタジオの予約の都合があるため早めに計画を立てる。実習において撮影機材の基本オペレーションを学び撮影を実施する。CGと実写の合成を行う場合、最終ルックを考慮して撮影を行う必要がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	企画内容を発展させ、完成度の高い映像を作成できる		提出要件を満たした課題作品の提出			課題作品が提出できない			
到達目標 B	絵コンテ、字コンテを作成し、映像の完成形を提示することができる		企画概要、リファレンスの提示をドキュメント化できる			作品の企画ができない			
到達目標 C	ソフトウェア間の連携をとりつつ、効率よく制作を進めることができる		基本的な映像、音声の編集、加工のオペレーションができる			ソフトウェアのオペレーションが理解できない			
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 必要に応じて授業用のデータを配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 50% 完成した作品の完成度について評価する。 平常点 50% 出席率、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デジタル演習 6			年度	2026
英語表記		Digital Exercise 6			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	実習ガイダンス/グループビン	実習内容の解説とグループビン	1 グループビン	グループ内でのコミュニケーション	3	
			2 規格アイデア出し	個別のアイデア出し		
2	編集基礎/カメラワーク基礎	企画の構築	1 カメラワークの基礎知識	カット割り、画面構成などの映像の基礎知識の確認	3	
			2 映像編集の基礎知識	映像の連続性、三幕構成による映像の構築法補の確認		
3	映像編集基礎 1	映像編集ソフトウェア基本操作 1	1 映像素材の準備と環境設定	映像編集に必要な素材の整理と環境構築	1	
			2 編集ソフトウェア基本操作	映像編集ソフトウェアの基本操作の確認		
4	映像編集基礎 2	映像編集ソフトウェア基本操作 2	1 カット編集基礎	タイムラインに素材を展開し、編集を行う	1	
			2 映像の書き出し	編集後の映像を適切なフォーマットで書き出す		
5	撮影準備	企画の整理と撮影準備	1 企画内容の修正	講師からのアドバイスに従い、企画を修正する	3	
			2 ロケハン	企画内容に従い、ロケハンを行う		
6	映像撮影 1	撮影スケジュール確認とプリビズ素材撮影	1 撮影スケジュールの策定	撮影スケジュールを決定する	3	
			2 ロケハンと仮撮影	ロケハンを行いつつ、仮撮影を行う		
7	映像制作 2	素材整理と仮編集	1 仮撮影	撮影計画に基づき、仮撮影を行う	3	
			2 撮影素材の仮編集	仮撮影素材の仮編集を行う		
8	映像撮影 3	ロケーションと撮影	1 撮影作業	撮影計画に基づき、撮影を行う	3	
			2 撮影素材整理	撮影素材をまとめ、編集可能な状態になるよう整理を行う		
9	音声収録 1	音声編集ソフトウェアの基本操作	1 音声素材の準備と環境設定	音声編集に必要な素材の整理と環境構築	1	
			2 音声編集ソフトウェア基本操作	音声編集ソフトウェアの基本操作の確認		
10	音声収録 2	ミキサー/録音ブースの使用法基礎	1 ミキサーの基本操作	コンピュータと音声ミキサーの接続と収録設定の確認	1	
			2 音声収録基礎	音声編集ソフトウェアによる音声収録方法の確認		
11	映像撮影 4	企画の最終提出と編集作業	1 企画書の再構築	撮影の進行を確認し、企画の見直し、修正を行う	1	
			2 プリビズ提出	プリビズを提出し、講師からのアドバイスをもらう		
12	映像撮影 5	ロケーションと撮影	1 本撮影	撮影計画に基づき、本撮影を行う	3	
			2 撮影素材の仮編集	撮影素材をまとめ、編集可能な状態になるよう整理を行う		
13	映像撮影 6	素材整理と編集作業	1 撮影素材のまとめ	本撮影素材の仮編集を行う	3	
			2 撮影素材の編集	音声素材のまとめと録音作業を行う		
14	中間講評	ショートムービーの中間提出	1 音声収録と映像編集	撮影素材のと音声の編集を行う	1	
			2 ショートムービーの仮提出	完成した素材をまとめ、ショートムービーの仮提出を行う		
15	作品講評	作品の最終講評	1 ショートムービーの最終提出	完成したショートムービーを提出する	2	
			2 講評	完成作品のプレゼンテーションを行う		

評価方法：1. 課題提出、2. 作品の完成度、3. 出席率

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等 指定の実習室・教室で受講する。